

令和3年1月29日(金)14時00分  
資料配布 建設副産物対策近畿地方連絡協議会  
事務局 近畿地方整備局

## 「近畿建設リサイクル表彰」受賞団体が決定しました ～ 優秀賞2団体、奨励賞4団体 ～

3R（リデュース、リユース、リサイクル）の取り組みを充実させ、建設廃棄物などの循環資源が適正かつ有効に利用される「循環型社会」の構築にむけた行動の輪をひろげることを目的として、建設副産物対策近畿連絡協議会では、毎年、建設リサイクルの推進を自主的かつ積極的に取り組んでいる個人、団体、又は事業所等に対し、その活動を表彰しています。

このたび、令和2年度「近畿建設リサイクル表彰」の受賞団体が決定しましたのでお知らせします

### ●近畿建設リサイクル表彰

#### ○優秀賞

- ・西松建設株式会社 西日本支社 北幹南福井出張所 北陸幹第3南福井高架新設他工事
- ・関西チップ工業株式会社、関西商事株式会社

#### ○奨励賞

##### <発生抑制・搬出部門>

- ・株式会社西山工務店 日高地区堤防整備工事
- ・株式会社香山組 加古川中流部堤防強化他工事

##### <再資源化部門>

- ・株式会社城内組 二見地区築堤護岸工事
- ・角谷木材建設株式会社 再使用・再利用に関する研究開発、教育啓発活動等

受賞内容(活動テーマ)については別紙をご覧ください

- なお例年建設リサイクル講演会と同時開催で行っております表彰式ですが、今年度はコロナウイルス感染拡大防止の観点から中止とさせていただきます

※ 建設副産物対策近畿地方連絡協議会： 建設業に伴い発生する建設残土や建設廃棄物の近畿圏域における計画的な利用促進に関し、必要な協議及び情報の収集、交換等を行い、事業の円滑な推進に寄与することを目的に、関係34機関で構成しています。

<取扱い>

<配布場所> 近畿建設記者クラブ、大手前記者クラブ

<問合せ先> 近畿地方整備局 建設副産物対策近畿地方連絡協議会事務局  
企画部 技術調査課 課長 村田 直磯(内線3251)  
課長補佐 菅沼 幸江(内線3252)  
電話 06-6942-1141(代表)、06-6942-3826(夜間直通)

# 令和2年度近畿建設リサイクル表彰受賞者

別紙

## 優秀賞

受賞者	活動テーマ
①西松建設株式会社 西日本支社 北幹南福井出張所 北陸幹第3南福井高架新設他工事	「3R」で進める「地方創生」(北陸新幹線・高架新設工事における環境負荷低減に対する取組み)
②関西チップ工業株式会社、関西商事株式会社	近畿地方の建設発生木材の再生と有効利用を目指して約半世紀

## 奨励賞

	受賞者	活動テーマ
発生抑制・搬出抑制部門	①株式会社西山工務店 日高地区堤防整備工事	鋼製型枠利用による木くず発生のゼロ化
	②株式会社香山組 加古川中流部堤防強化他工事	河川堤防強化工事で「環境保全と建設副産物の低減」を取り入れて施工期間の短縮を実現
再生利用・再使用部門	①株式会社城内組 二見地区築堤護岸工事	土砂混合による建設発生土の有効利用を推進する取組み
	②角谷木材建設株式会社 再使用・再生利用に関する研究開発、教育啓発活動等	建設工事に伴い発生する木質材のバイオマス燃料として利用不可能な木質チップ材のカブトムシ幼虫育成化への活動

## 令和2年度近畿建設リサイクル表彰

ほっかんみなみふくいしゅつちょうしょ

優秀賞

西松建設株式会社 西日本支社 北幹南福井出張所  
ほくりくかんだいさんみなみふくいこうかしんせつほかこうじ  
北陸幹第3南福井高架新設他工事

### 「3R」で進める「地方創生」(北陸新幹線・高架新設工事における環境負荷低減に対する取組み)

- 北陸新幹線(福井駅南付近)の延長L=289mのうち、鋼管ソイルセメント杭73本他工事
- 地元業者との対話を重要視。対話から情報を得た「地元福井市生コン圧送業者開発の3R関連商品」を採用し、発生抑制や再資源化を促進
- 建設汚泥の減量化(703m<sup>3</sup>)及び大量の自ら利用(2,352m<sup>3</sup>:再資源化率約50%)
- 建設発生土の自ら利用(2,752m<sup>3</sup>)



コンクリート打設時に使用する先行材を変更することで残コン削減



打設時に発生する余剰コンクリートに「改良剤」添加・固化後、適宜作業ヤードの砕石として使用

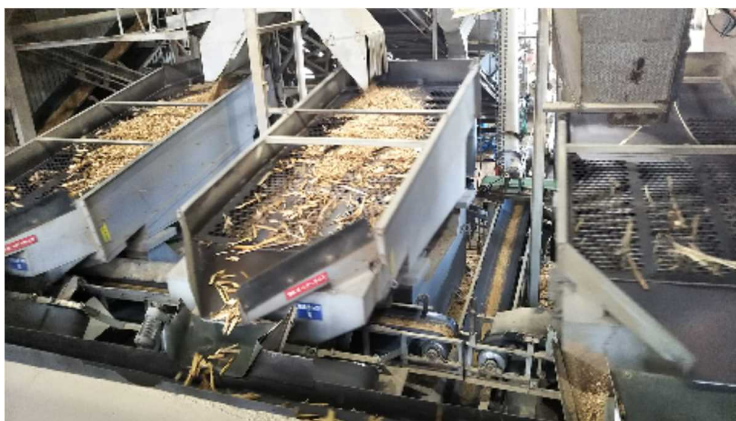
## 令和2年度近畿建設リサイクル表彰

優秀賞

関西チップ工業株式会社、関西商事株式会社

### 近畿地方の建設発生木材の再生と有効利用を目指して約半世紀

- 関西チップ工業(大阪市)、関西商事(忠岡町)にて木くずのリサイクル率向上を目指し、45年以上の長年にわたり、取組みを実施
- 毎年度8万トン(近畿全体の約10%相当と推計される)の建設発生木材を受け入れ、リサイクル
- 処理機械メーカーと刃の角度・硬さを試行錯誤しながら、マテリアルリサイクル(ダンボール用チップ)を推進



分別徹底された柱材をカッター一切削



奨励賞

【発生抑制・搬出抑制部門】

株式会社西山工務店 日高地区堤防整備工事

## 鋼製型枠利用による木くず発生ゼロ化

- ・樋門工・水路工・付属物設置工のコンクリート打設における型枠材を鋼製型枠にて施工(木くず発生ゼロ)
  - ・西山工務店が所有する鋼製型枠を協力会社へ貸与
- ⇒中小企業では協力会社が所有する合板型枠を使用することが一般的
- ⇒定期的及び現場入場時に型枠組立業者へ取扱方法等の実技指導を実施



鋼製型枠工事近景

3

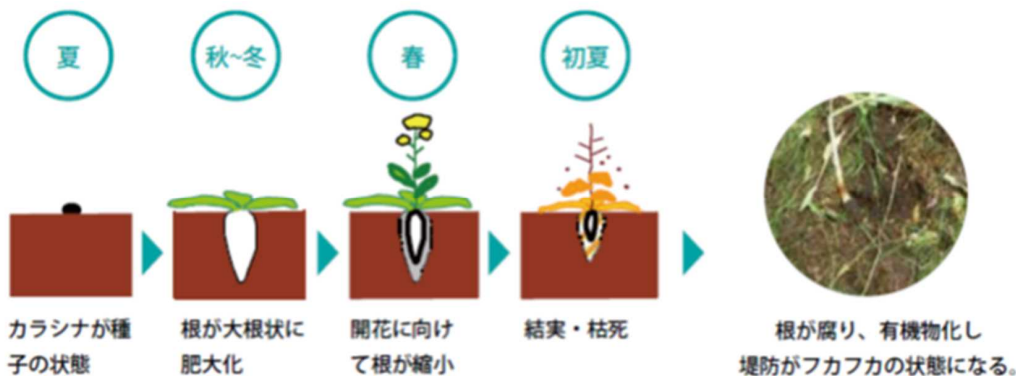
奨励賞

【発生抑制・搬出抑制部門】

株式会社香山組 加古川中流部堤防強化他工事

## 河川堤防強化工事で「環境保全と建設副産物の低減」を取り入れて施工期間の短縮を実現

- ・6箇所分散された加古川中流部の場所において堤防強化工事
- ・河川巡視堤防点検への支障やカラシナによる堤防機能の弱体化(下図)にならないか検討し、表土全量(215m<sup>3</sup>)の流用、張芝の利用量(1,430m<sup>2</sup>)を削減



カラシナの成長に伴う堤防弱体化フロー(出典:河川財団NEWS H28.8月号)

4

## 奨励賞

【再使用・再生利用部門】

じょうないぐみ ふたみちく

株式会社城内組 二見地区築堤護岸工事

### 土砂混合による建設発生土の有効利用を推進する取り組み

- ・ 奈良県五條市の築堤護岸工事
- ・ 土砂混合による粒度調整を検討し、現地粘性土（浚渫土）の補足材の調達方法、各種土質試験から配合の検討、施工方法から品質管理までを発注者へ提案。現地土17,600m<sup>3</sup>を現場内利用（山土利用削減）を達成
- ・ 本工事の後発工事でも、同様の土砂混合リサイクルが導入されている



土砂混合システム近景【土壤くん】

5

## 奨励賞

【再使用・再生利用部門】

かくたにもくざいけんせつ

角谷木材建設株式会社

再使用・再生利用に関する研究開発、教育啓発活動等

### 建設工事に伴い発生する木質材のバイオマス燃料として利用不可能な木質チップ材のカブトムシ幼虫育成化への活動

- ・ バイオマス燃料として利用できない木質チップ材について、林道斜面や河川の低水護岸等へ散布
- ・ 木くずの中にカブトムシが産卵するには木くずの作成時期や温度、チップの葉・枝・根の割合など、様々な課題に対して検討

⇒3年の試行錯誤の結果、葉：幹：根の混合割合を見いだす。

チップを堆積させた場合、表面から70cm内にカブトムシの幼虫がみられ、その奥深くには見られないことから温度が高い(30度以上)ことが要因と推測



河川の低水護岸等への散布・敷設

カブトムシ幼虫の繁殖用チップの温度管理

6